

## 【クレア経済アドバイザーの視点】

クレアでは自治体の海外経済活動に対しより効果的な支援を行うため、経済交流課に経済アドバイザー（商社OB）を設置しています。

海外経済活動に必要な基本情報から、輸出入や海外でイベント、商談会を行う際の注意点などの個別具体的なアドバイスまで、専門的見地からの助言を行っています。どうぞご活用ください。

毎月、山崎経済アドバイザーの視点による注目情報をお届けします。



## 貿易のいろは（その5）一本格的商談

交流支援部経済交流課

### 【前号のおさらい】

上海の高級スーパーB社の陳社長からオフアの要請を受けたA社の山田社長は、クレアの山崎アドバイザーのもとに訪れ、本格的商談について教えてもらい、早速オフアに織り込む条件について、教えてもらうこととした。

### 【オフアに最低限必要な条件】

山田社長は、山崎アドバイザーより、オフアに折り込まなくてはならない九つの最低限必要な条件について下記のアドバイスを受けた。

九つの条件とは、①商品名 ②建値（価格条件）③決済条件 ④数量 ⑤品質 ⑥船積み時期 ⑦梱包条件 ⑧品質数量の検収条件 ⑨オフアの有効期限 である。

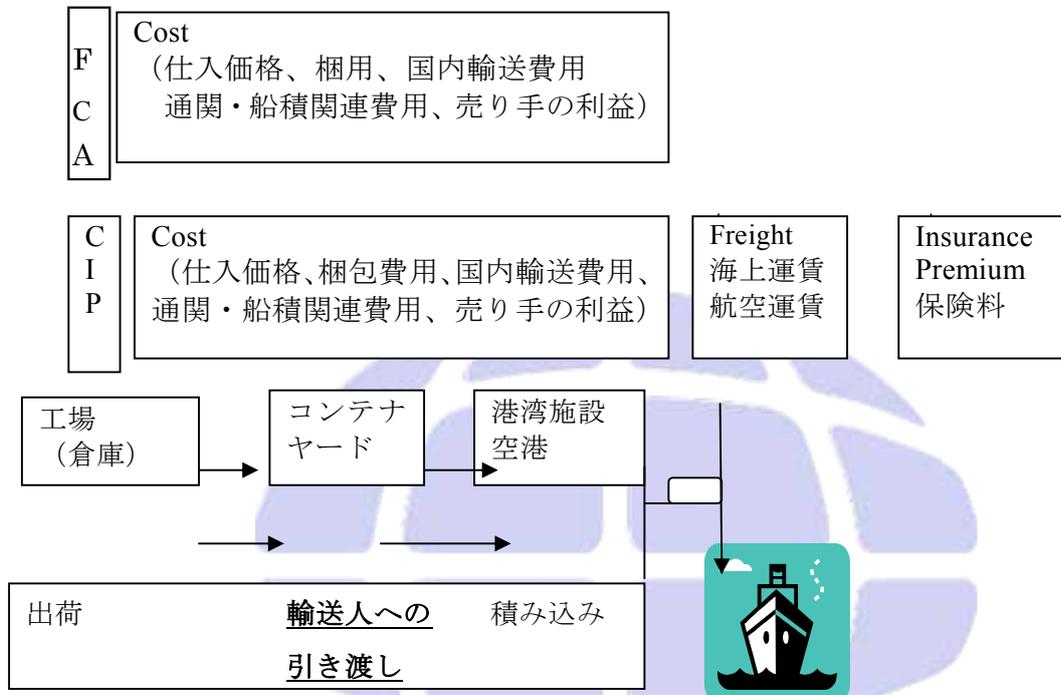
#### ① 商品名

青森〇〇産りんごの商品名とブランドネームなどを明示すれば良い。

#### ② 建値

売り手が買い手に提示する際に、売り手の費用負担の範囲を明確に示す国際的に取り決められた多くの専門用語（インコタームスと言う）が存在するが、今日貿易で多く使用されているコンテナでの輸送の際に使用される専門用語を二つ紹介したい。まずCIPと言う条件があるが、これは売り手が母国の出荷地点から、買い手の受け入れ指定地点までの運賃と保険費用を負担するという条件である。「CIP Singapore」と明記されていれば、シンガポールまでの費用を全て売り手が負担す

ること示している。もう一つは FCA という条件があるが、これは売り手が貨物を  
運送人に渡すまでの費用しか負担しないと言う条件である。即ち海上運賃或いは航  
空運賃及び保険料は買い手が自分で手配し、負担しなければならないと言う条件  
である。「FCA Kobe」と明記されていれば、売り手は神戸で運送人に引き渡すま  
でしか費用を負担しないと言うことを意味している。図式化すると下記の通りとな  
る。



FCA と CIP における売り手と買い手の費用負担の範囲とリスクの範囲は必ずしも一  
致しないことに注意を要する。国際的には輸送人に荷物が渡された時点で売り手から  
買い手にリスクが移転されると規定されている。例えば船積みを待つコンテナヤード  
に置いてあるコンテナが台風で流された場合の責任は、既に荷物は売り手から輸送  
人の手に渡されている為、買い手から売り手に既にリスクが移転していることになる。  
したがって売り手は責任から免れることになる。

### ③ 決済条件

色々な種類があるので全てをここでは説明出来ないが、最も安全な回収条件は船積  
み前に代金が回収出来る前渡金である。しかし現実問題としては、売り手が余程強  
い立場にない限り、買い手に前渡金を要求することはほぼ不可能であることから、  
一般的に輸出信用状 (L/C—エルシーと呼ぶ) という決済条件が使用される。L/C  
(エルシー) とは買い手に代わってその取引銀行が支払いを保証する保証状のこ  
とで、極めて安全な決済条件である。特に初めての取引相手に対しては、L/C を決済

条件とすることが、債権の保全を考える上でキーポイントである。しかしL/C条件を受諾せず、船積み後の後払い条件を要求する取引先である場合は、代金回収の保証は無いわけで、先に述べた信用調査をもとに、相手に対して信用の供与をするか否かを、慎重に判断しなければならない。

④ 数量

⑤ 品質

売り手として買い手に対し、保証可能な数量及び品質を明記する必要がある。特に品質については、ある程度の余裕を持った範囲での保証をしないと売り手としては思わぬリスクを負担することになるので、注意を要する。

⑥ 船積み時期

最も注意しなければならないことは、貿易に於いては絶対に到着時期（納期）を保証してはならないと言う点である。現在でこそ航空機や高速コンテナ船での輸送が一般的になったとは言え、一般的に輸送距離が長い貿易取引に於いては、到着時期を保証することは売り手としてのリスクに繋がる為、船積み時期のみを明記することが肝要である。

⑦ 梱包

梱包の詳細を明記する。

⑧ 品質及び数量の保証条件（検収条件）

輸出国に於ける船積み前の品質及び数量が売り手としての最終保証であることを明記する必要がある。言い換えれば到着時点での数量及び品質の保証をしてはならないということである。輸送距離の長い貿易に於いては輸送途上に於ける数量の欠損、品質の劣化が生じる可能性が高い為である。一般的には製造（生産）者による検査証明書か、第三者の検定機関の検査証明書を以て売り手の最終保証としている。

⑨ オファの有効期限

必ず明記しないと、大きなリスクを抱えることになるので忘れてはならない項目の一つである。オファの期限を余り長くすると、その間の市況変動などのリスクを被る可能性あり避けるべきであるが、一般的には数日から二週間程度の間が妥当のように思われる。

一次号に続くー

(経済アドバイザー 山崎 和彦)